

# 宮崎県立

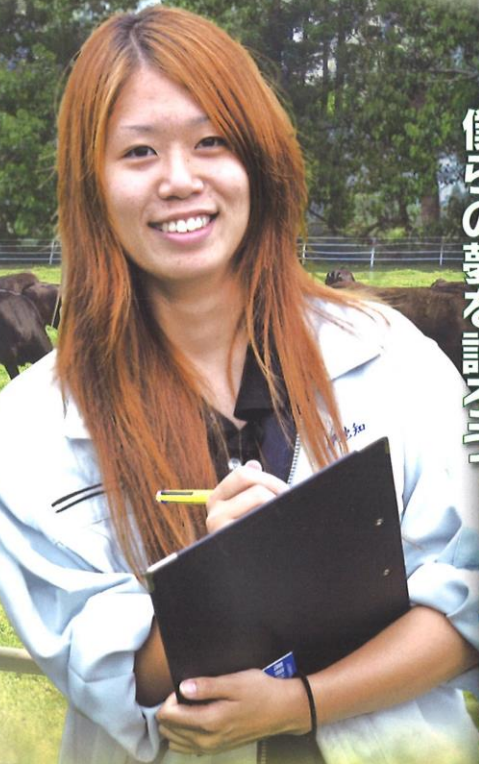
Miyazaki Agricultural Junior College

# 農業大学校

## 2011 学生募集

僕らの夢を語りつ

空と大地の間で





# New Start!

未来へ伝えたいことがあるから

## アグリビジネス学科

### ● 学科の目標 ●

水稲や露地野菜等の大規模経営と、  
地域資源を活用した加工等の  
ビジネスの理論と実践の学習

### 大規模経営コース

### グリーンライフコース

#### 大規模経営コース科目

水稲・露地野菜栽培、大規模畑作・水稲栽培  
機械実習、農業法人実務、農産物加工、  
販売実習、大型特殊けん引講習、  
大規模法人経営の理論と事例研究、  
プロジェクト学習 等



#### グリーンライフコース科目

食品表示、食品衛生、グリーンツーリズム、  
農業と福祉、マーケティングと顧客管理、  
農畜産物加工実習、農家直売所・農家レストラン・  
農家民宿経営の理論・実習・事例研究、  
プロジェクト学習 等



### Message from Student

水稲畑作経営  
コース  
(2年)

齋藤 洋樹

私は、プロジェクト学習で秋植えのジャガイモに取り  
組みました。プロジェクトの過程では作物作りの難しさ  
や大変さを学ぶ事となりましたが、収穫したときの喜び  
は格別なものでした。  
私の夢は、経営規模を拡大して専業農家になること  
なので、機械の資格取得や機械化作業体系の技術習  
得に日々頑張っています。  
みなさんも在学中に多くの資格が取り、実践的な知  
識や技術を学べる本校で勉強してみませんか。

### 講義

#### Lecture



幅広い分野の知識を習得するために

本校職員だけでなく産学官の幅広い分野から外部講師  
を招へいし、充実した講義が開かれています。

### プロジェクト

#### Project



基礎理論から最先端領域まで

学生は、自分のプロジェクト課題を設定します。創造的  
なプロジェクト活動により、生産技術と経営能力を高め、  
農業経営者としての能力を身につけていきます。

### 図書館

#### Library



知識と情報を自分のものに

専門書から教養書まで豊富な図書を収蔵し、学生が  
自由に閲覧できます。平日は午後9時30分まで利用  
ができます。



# for Our Rebirth

## 私達はこれからも前進します!!



## 園芸経営学科

### ● 学科の目標 ●

各種施設を活用した施設野菜、  
花き、果樹、茶の栽培と加工の  
理論と実践の学習

施設野菜コース

花きコース

果樹・茶コース

### 共通科目

植物生理、植物の育種と知的所有権、施設野菜・花き・果樹栽培、園芸施設・機械、農産園芸の施策と流通、農産物鮮度保持、農産物加工、植物バイオテクノロジー等

### 施設野菜コース科目

宮崎の施設野菜栽培実習、流通販売実習、施設野菜経営の理論と事例研究、プロジェクト学習等

### 花きコース科目

宮崎の花き栽培実習、流通販売実習、フラワーデザイン、花き経営の理論と事例研究、プロジェクト学習等

### 果樹・茶コース科目

宮崎の果樹栽培実習、果樹経営の理論と事例研究、宮崎の茶栽培加工実習、茶経営の理論と事例研究、流通販売実習、プロジェクト学習等



### Message from Student

施設野菜  
コース  
(1年)

小森 千賀子

我が家は、露地野菜の経営をしていますが、将来は施設野菜の経営に挑戦してみたいと思い施設野菜コースに入学しました。  
広い農場での実習は、日々発見が多く大変充実した毎日を送っています。自分でやりたいことを決めてプロジェクトに取り組めるので、とてもやりがいがあり楽しいです。  
将来、農業関係の道へ進もうと考えている人もそうでない人も農大と一緒に農業を学びませんか。

### 情報処理

Information Processing



### 行事

Event



### 寮生活

Dormitory



### 国際競争力を身につける情報処理を学ぶ

情報処理室では、基礎演習から経営分析、プロジェクトのまとめ、インターネットによる情報収集等を行います。

### 充実したキャンパスライフを送るために

農大祭をはじめとして、探訪会、球技大会、プロジェクト発表会など、農大校ならではの充実した校内行事があります。

### 地域リーダーとしての社会性を養う

全寮制による共同生活を通して自立心・責任感・協調性を養うとともに、自治会活動を通して社会組織の基礎活動を体験することで将来の地域リーダーとしての指導力を養います。



学科を卒業した者は、  
**「宮崎県農業士」と**  
**「専門士」**の称号が  
 付与されます。

**在学中にチャレンジする資格・検定等**

大型特殊免許(農耕用)、農業機械士、けん引免許(農耕用)、危険物取扱主任者、劇毒物取扱主任者、食品衛生責任者、グリーンツーリズムインストラクター、フラワーアレンジメント、家畜人工授精師、2級認定牛削蹄師、家畜商、受精卵移植師(選抜)、フォークリフト運転技能講習、車両系建設機械運転技能講習、玉掛け技能講習、小型移動式クレーン技能講習、大型特殊免許限定解除、ガス溶接技能講習、アーク溶接等業務特別教育、農業技術検定、日商簿記検定、日商PC検定等

**畜産経営学科**

● 学科の目標 ●

時代のニーズに対応した肉用牛経営  
 (繁殖、肥育)と乳肉複合経営  
 (乳生産、乳用牛・F1・肉用牛肥育)の  
 理論と実践の学習

肉用牛コース

乳肉複合コース

共通科目

育種改良、飼料作物、畜産物の流通加工、  
 家畜衛生・牛の病気、人工授精特別講義(Ⅰ～Ⅶ)、  
 家畜排泄物処理、畜産行政・畜産法規、  
 大型特殊けん引講習、  
 畜産バイオテクノロジー等

肉用牛コース科目

肉用牛の改良登録と審査、飼料給与計算法、  
 飼育管理実習、飼料作物栽培貯蔵機械実習、  
 肉用牛経営の理論と事例研究、  
 プロジェクト学習等

乳肉複合コース科目

乳牛の改良登録と審査、飼料給与計算法、  
 飼育管理実習、飼料作物栽培貯蔵機械実習、  
 乳肉経営の理論と事例研究、  
 プロジェクト学習等



Message from Student

伊地知 沙織

肉用牛  
 コース  
 (1年)

我が家は繁殖経営農家です。将来は、家を継ぐために宮崎県立農業大学校に入学し、肉用牛コースで日々、牛のことについて学習しています。また、人工授精師や削蹄師の免許を取得するための勉強もしています。卒業後は、研修や海外留学をして大規模経営を実際に見学し、知識や技術を身につけたいです。立派な繁殖農家になるために、この2年間一生懸命に学んでいきたいです。

海外農業体験研修

FarmStay



国際的視野を身につけるために

海外でのファームステイや産地視察等を通して、海外農業の現状や経営者感覚等を直接体験します。

サークル

Circle



豊かな個性を伸ばす

■運動クラブ

野球、サッカー、バスケット、バレー、バドミントン、テニス、卓球、剣道、陸上、ゴルフなど

■文化クラブ

華道、茶道、軽音楽、太鼓、ボランティアなど

地域イベントへの参加

Community



地域に開き信頼される農大校であるために

生産した農産物を地域イベントで直接販売し、消費者のニーズを把握するとともにコミュニケーションの大切さを学びます。



# スケールの大きな学習環境が、 確かな技術と豊富な知識を育てる。

各学科  
共通科目

くらしと法律・経済、情報処理、国語表現、英会話、食品の安心安全、農業経営、土壌肥料、農業簿記、農業機械、先進農家・先輩・異業種に学ぶ 等

教育課程  
＜教育の目標＞

社会情勢の変化や国際化に対応できる幅広い視野を持ち、高度な技術と経営能力を有する農業経営者、地域農業を先導する農業指導者を全寮制により養成し、本県農業の振興発展に寄与する優秀な人材を育成する。



## 専攻科

### 専攻科の目標

県、市町村、JA等農業団体における  
地域農業指導者、農業法人等  
経営組織体の中核農業者の養成

農産コース

園芸コース

畜産コース

### 講義

#### 一般教養科目

数学、英語、地域農業マネジメント論 等

#### 共通専門科目

農業簿記、農業指導論、農業情報処理、農業税務論 等

#### 農産・園芸専門科目

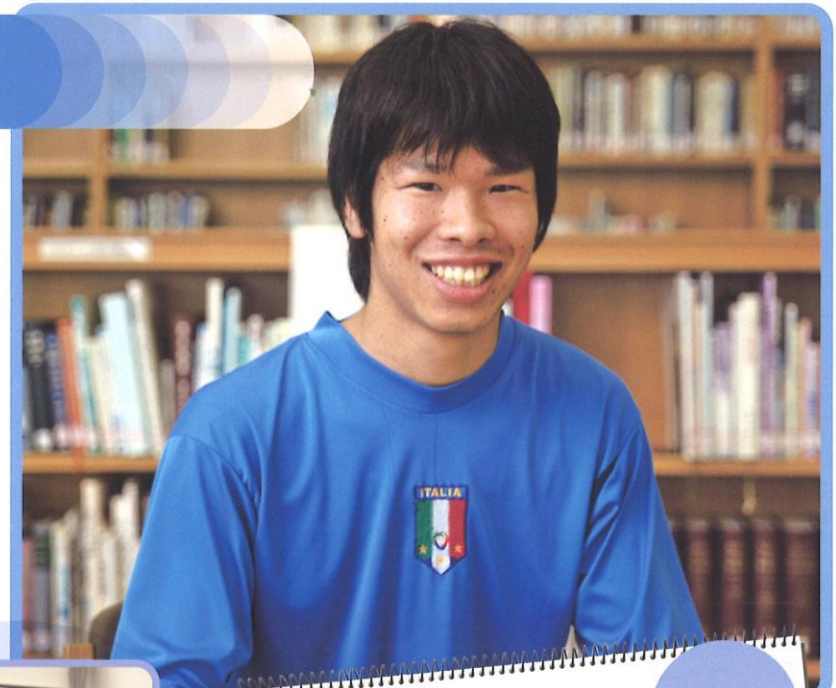
植物生理学、植物育種学、植物病理学、農業施設機械論 等

#### 畜産専門科目

家畜育種学、食の安全論、家畜環境保全論、受精卵移植講習 等

### 実習

試験場研修、農業指導実習、農畜産物流通実習 等



### Message from Student

畜産コース  
(1年)

加藤 大輝

専攻科は幅広く、専門的な内容を多く学ぶことができます。また、長期研修があり実践的な学習をすることで座学では学ぶことのできない社会的な学習が可能となっています。少人数制ということも、充実した学習環境の中でより多くの事を学ぶことができると思います。宮崎の農業に貢献するために、レベルの高い勉強にチャレンジしてみませんか。

### 在学中の経費 ※その他に必要な経費が生じた場合は別途徴収する。

#### 学科(2年間)

教材・教具、実習服、制服等	20~30万円 程度
海外農業体験研修費	30万円 程度
傷害保険料・損害保険料	3万円 程度
自治会費・後援会費	11万円 程度
卒業アルバム代	1万円 程度
寮電気料・共益費	6万円 程度
検定・資格取得	11~24万円 程度
計	92~95万円 程度

#### ※経費の納入方法

- 1年次分  
アグリビジネス・園芸経営学科 48万円程度  
畜産経営学科 51万円程度
- 2年次分/44万円程度  
※寮食費については、各家庭が指定した口座から引き落としされます。(1日約800円)約16万円×2=約32万円  
※その他に必要な経費が生じた場合は別途徴収する。  
※検定・資格取得は学科によって異なります。  
※1 卒業後即就農する者は、(財)宮崎県農業振興公社から就農研修資金(無利子)を借り受けることができます。(月額50,000円以内、定数枠有り)  
※2 日本学生支援機構・宮崎県育英会の奨学金の貸付対象となる。(定数枠有り)  
日本学生支援機構は、高校在学中に予約奨学金の申請が可能。

#### 専攻科(2年間)

	<入寮者>	<通学者>
教材・教具等	28万円 程度	28万円 程度
傷害保険料・損害保険料	3万円 程度	3万円 程度
自治会費・後援会費	11万円 程度	11万円 程度
寮電気料・共益費	8万円 程度	
計	50万円 程度	42万円 程度

※寮食費は、口座引落になります。



# 平成23年度 募集要項

学 科	コ ー ス	募集人員	修業年限
アグリビジネス学科	大規模経営(10名)、グリーンライフ(5名)	15人	2年
園芸経営学科	施設野菜(12名)、花き(5名)、果樹・茶(8名)	25人	
畜産経営学科	肉用牛(15名)、乳肉複合(10名)	25人	

(※推薦入学は定員のおおむね50%)

	コ ー ス	募集人員	修業年限
専攻科	農産・園芸・畜産	2年課程/10名以内 1年課程/若干名	2年又は1年

## 学 科 (推 薦) 入 試

## 学 科 (一 般) 入 試

## 専 攻 科 入 試

受験期日	平成22年10月15日(金)	平成22年12月10日(金)	平成22年12月10日(金)
受験資格	(1) 県内の高等学校を平成23年3月卒業見込みの者 (2) 本校への入学が確実な者 (3) 卒業後、県内において確実に農業に従事し(研修後を含む)、かつ地域農業の振興に尽くす意志の強固な者 (4) 人物及び学業成績が優れ(調査書の評定平均3.5以上)高等学校長が推薦する者	(1) 高等学校を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者。 (2) 学校教育法第56条の規定により大学に入学することのできる者。	(1) 各県農業大学校の学科を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者 (2) 学校教育法に基づく短期大学において農業を専修する学科若しくはこれに相当する課程を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者 (3) 知事が農業に関して短期大学卒業者と同等以上の学力を有すると認めた者
受験手続き(出願書類)	ア. 入学願書 本校所定のもの(縦4cm×横3cm 上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入) イ. 高等学校の調査書(進学用) ウ. 高等学校長の推薦書(本校所定のもの) エ. 営農計画書(本校所定のもので就農予定の市町村長の所見の記載のあるもの) オ. 受験票 本校所定のもの(縦4cm×横3cm上半身脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入) カ. 入学試験手数料については、2,200円分の宮崎県収入証紙を貼付すること キ. 受験票等送付用封筒 宛名明記の返信用封筒2通 返信用封筒については、380円切手を貼付した定形封筒(12×23.5cm程度)と420円切手を貼付した定形外封筒(24×33cm程度)の2通(簡易書留料を含む)	ア. 入学願書 本校所定のもの(縦4cm×横3cm 上半身 脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入) イ. 高等学校の調査書(進学用)又は大学入学資格検定合格証書の写し ウ. 健康診断書 過年度卒業生のみ必要(3か月以内に発行されたもの) エ. 受験票 本校所定のもの(縦4cm×横3cm 上半身 脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入) オ. 入学試験手数料については、2,200円分の宮崎県収入証紙を貼付すること カ. 受験票等送付用封筒 宛名明記の返信用封筒2通 返信用封筒については、380円切手を貼付した定形封筒(12×23.5cm程度)と420円切手を貼付した定形外封筒(24×33cm程度)の2通(簡易書留料を含む)	ア. 入学願書 本校所定のもの(縦4cm×横3cm 上半身 脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入) イ. 卒業(見込み)証明書又は受験資格証明書 ウ. 成績証明書 エ. 健康診断書 3か月以内に発行されたもの オ. 受験票 本校所定のもの(縦4cm×横3cm 上半身 脱帽写真貼付、写真裏面に氏名記入) カ. 入学試験手数料については、2,200円分の宮崎県収入証紙を貼付すること キ. 受験票等送付用封筒 宛名明記の返信用封筒2通(本校在学学生は不要) 返信用封筒については、380円切手を貼付した定形封筒(12×23.5cm程度)と420円切手を貼付した定形外封筒(24×33cm程度)の2通(簡易書留料を含む)
受付期間	平成22年9月1日(水)～9月21日(火) (土曜日・日曜日を除く)なお、郵送の場合は当日消印有効	平成22年11月1日(月)～11月19日(金) (土曜日・日曜日を除く)なお、郵送の場合は当日消印有効	
試験方法及び科目	(1) 筆記試験 数学Ⅰ、小論文  (2) 面接試験	(1) 筆記試験 ア. 必須科目 国語総合(古典を除く)、 数学Ⅰ、小論文 イ. 選択科目 作物・園芸(野菜、花き、果樹)、畜産、 食品加工、生物Ⅰ、化学Ⅰから1科目  (2) 面接試験	(1) 筆記試験 ア 必須科目 一般教養、 小論文(農政事情、農業経営等) イ 選択科目 作物学、園芸学、 畜産学から1科目選択  (2) 面接試験
試験場所及び書類提出先	<b>宮崎県立農業大学校</b> 〒884-0005 宮崎県児湯郡高鍋町大字持田5733 TEL.0983-23-0120 FAX.0983-22-2529		
合格発表	平成22年10月28日(木) 午前9時本校玄関前に掲示するとともに、本人宛に通知する。あわせて、本校ホームページ上に掲載する。	平成22年12月24日(金) 午前9時本校玄関前に掲示するとともに、本人あて通知する。あわせて、本校ホームページ上に掲載する。	
入学試験手数料	2,200円(宮崎県収入証紙を貼付)	2,200円(宮崎県収入証紙を貼付)	2,200円(宮崎県収入証紙を貼付)
入学科及び授業料	入学科5,650円を徴収する。また、授業料は118,800円(年額)を徴収する。		

※1 平成22年度から専修学校となったため、4年制大学農学部等の3年次への編入学の受験資格が得られます。

※2 専攻科は、平成23年度募集をもって廃止する。

## ACCESS

- JR日豊本線  
高鍋駅下車 北へ8km
- バス  
宮崎交通バス高鍋営業所経由  
都農または日向行  
「農業大学校前」下車
- タクシー  
高鍋駅より約15分



## 宮崎県立農業大学校 教務まで

お問合せ先

〒884-0005 宮崎県児湯郡高鍋町大字持田5733番地  
**TEL.0983-23-0120 FAX.0983-22-2529**  
<http://www.majc.pref.miyazaki.lg.jp>